参考資料

飛行場に求められる役割とその実現に向けた整理

（学識経験者の意見）

飛行場に求められる役割とその実現に向けた整理
ー学識経験者の意見（１）ー

１　飛行場に求められる役割

（１）安全で安定的な運航

安全な離着陸の確保を前提に下記３点の機能を担う

- 本土と島しょ（大島、新島、神津島、三宅島）を結ぶ唯一の空の玄関口であり、島民生活の安定や島しょ地域の観光、産業の振興に寄与
- 飛行機を利用して写真撮影や測量を行う事業者が拠点としている関東唯一の公共飛行場として、全国の災害発生時の復旧や国土利用状況調査などの活動に寄与
- 防災、医療、消防などの緊急活動の拠点

（２）市民生活にも活用できる空間・機能の付加

（３）技術の発展への対応と多摩地域の振興

（４）２０３０年カーボンハーフへの貢献

必要性

- 上記の役割を担い続けるため、安全・安定的な運航の維持確保を前提として、昨今の社会情勢の変化や将来求められる役割等も把握し、飛行場が有すべき機能・施設を整理し、今後具体化の検討を図ることが必要
- また、当飛行場の施設の多くは老朽化が進んでおり、計画的な対応が必要

飛行場に求められる役割とその実現に向けた整理
ー学識経験者の意見（２）ー

２　飛行場が有すべき機能・施設

ア　安全で安定的な運航

①安全な離着陸

- 調布飛行場は独自のルールを定め、離着陸の安全の確保を行っている。
  今後も飛行場管理者として、ルール順守の徹底を図るとともに、航空技術などの動向を注視し、適切な対応に努めるべき
- 空港運営に必要な管制塔などの維持更新を計画的に継続して取り組むべき

② 離島航空路線の安定的な運航

- 航空機は、船と比べて速達性が高く、医療機関へのアクセスが限られる島民にとって生命線であるため、航空機が安定的に運行することは、島民の命を守る上で重要
- 荒天時の航空機の退避や整備点検を他の空港で行っており、欠航のリスクや非効率な運用が生じている。これらを解消する方策について、検討が必要

イ　防災機能の強化

地域防災計画において、広域輸送拠点に位置付けられていることから、災害時に必要な機能を発揮できるように、災害ヘリの活動スペースや停電時に備えることができるよう検討すべき

飛行場に求められる役割とその実現に向けた整理
ー学識経験者の意見（３）ー

ウ　市民生活にも活用できる空間・機能の付加

「賑わいの創出」や「離島との交流」など、地域の声を継続的に聴いて必要な機能について整理すべき

エ　技術の発展への対応と多摩地域の振興

技術進展の著しい航空技術の動向を注視し、公共の飛行場として地域の理解を得ながら取り入れていくことが重要

オ　２０３０年カーボンハーフへの貢献

様々なツールを活かした再生可能エネルギーを導入し、２０３０年カーボンハーフに向けた空港の脱炭素化を推進すべき

カ　その他

- 長時間駐車による慢性的な混雑が発生していることから、駐車場の拡張や運用の工夫が必要
- まちづくりの進展に合わせ、周辺施設とのアクセスも検討すべき

３　地元要望への対応

- 地元要望への対応や整備計画の進展に合わせた空港の運用ルールを作成することが重要
- 作成にあたっては、過去の経緯を踏まえ、関係者間で協議・調整を十分に行い、将来にわたって発展するように努めること

飛行場に求められる役割とその実現に向けた整理
ー学識経験者の意見（４）ー

４　総括

（１）調布飛行場の機能を維持していくにあたり、今後、空港のスペースが縮小する場合は、社会的要請の大きい離島航空路線や航空機使用事業を優先するべき

（２）東京都において、整備が必要な施設や整備手順について、計画的に進められるように検討を行うべき。また、周辺住民や関係者からの意見を広く聴取していくことが必要

（３）安全確保を前提に、地域との共生に努めること

（４）技術進展の著しい航空技術の動向を注視し、地域の理解を得ながら取り入れていくと良い